

- 10月12日[木] かごしまの新特産品コンクール
- 10月13日[金] 新燃岳噴火情報共有会議
- 10月14日[土] 鶴丸城御楼門岐阜県産ケヤキの贈呈式
- 10月15日[日] 明治維新体感フェス! 2017
- 10月16日[月] 第2回県政ビジョン策定有識者委員会 (鹿児島地区・東京地区)
- 10月18日[水] 上海でのトップセールス
- 10月21日[土] 鶴丸城御楼門岐阜県産ケヤキの受領式
- 10月24日[火] 鹿児島県戦没者追悼式
- 10月26日[木] ロート製菓との「かごしま」の地域資源の活用等に関する連携協定締結式
- 10月28日[土] 知事と語ろう車座対話(日置市)
- 10月30日[月] かごしま遊楽館来館者10000万人達成記念セミナー
- 11月2日[木] 県民表彰式
- 11月12日[日] 南九州西回り自動車道「出水阿久根道路」全線開通
- 11月13日[月] 世界自然遺産奄美トレイルシンボルマーク・デザインコンテスト表彰式
- 11月16日[木] 天皇皇后両陛下下行幸啓
- 11月16日[木] 京都賞受賞者鹿児島講演会
- 11月25日[土] 食欲の秋! 元気もりもり!! 畜産フェア
- 12月2日[土] かごしまの島々フェア

10/14[±]
・
10/21[±]

鶴丸城御楼門 岐阜県産ケヤキの贈呈式・受領式



ケヤキの贈呈式の様子(岐阜県関ケ原町)▶
左から、古田岐阜県知事、三反園知事、
鹿児島県薩摩義士顕彰会 島津修久会長(第32代島津家当主)

宝暦治水の偉業を縁に、本県と姉妹県盟約を結ぶ岐阜県から、鶴丸城御楼門建設のために岐阜県産ケヤキが贈呈され、岐阜県関ケ原町においてケヤキの贈呈式が、鹿児島市において受領式が開催されました。

贈呈されたケヤキは、樹齢300年を超え、幹回り4メートル・長さ8メートルもある立派なもので、御楼門の正面大扉に使用されることとなっています。

岐阜県の皆さまの「厚情と先人の築いた絆が続いていること」にあらためて感謝しながら、鹿児島島の新しいシンボルとなる御楼門の2020年3月完成に向け、今後とも、官民一体となつて取り組んでいきます。



10/15
[日]

明治維新体感フェス! 2017



明治維新に関する歴史や文化などを身近に感じてもらうため、鹿児島港本港区北ふ頭において、「明治維新体感フェス! 2017」を開催しました。

タレントの松村邦洋さんによるトークショーや歴史家の加来耕三さんをお迎えしてのクイズ大会などを行い、悪天候にもかかわらず、約2500名もの方々が来場しました。

また、薩長土肥(鹿児島・山口・高知・佐賀)のグルメや特産品のブースも設置され、特に和牛日本一を祝して出展されたA5ランクの鹿児島黒牛の試食ブースは大人気で、限定400食があつという間になくなりました。



10/26
[木]

ロート製薬との「かごしま」の地域資源の活用等に関する連携協定締結式



今後、同社と連携しながら本県の地域資源などを活用した地域活性化の取り組みを進めていきます。



「かごしま」の地域資源の活用等に関する連携協定をロート製薬と締結しました。この協定締結により、県産農産物などを活用した商品開発や産学官連携の推進、明治維新150周年のPRなどへの協力をいただけることになりました。早速、11月には、協定に基づく取り組みの第1弾として、同社が薩摩酒造と共同で開発した本県産紫芋（一吉紫芋）を原料とする糍発酵飲料の販売が始まりました。

11/2
[木]

県民表彰式

《地方自治部門》
敷根 忠昭さん
〔元十島村長〕
十島村長として、3期12年の長きにわたり、村勢の発展と住民福祉の向上に努められるとともに、県離島振興協議会会長などの要職を歴任され、本県離島振興と地方自治の伸展に貢献されました。



左前列から佐藤さん、瀬戸上さん、敷根さん、三反園知事、前畑さん、中原さん

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰しています。本年度は5人の方々を表彰しました。

《くらし・環境部門》
佐藤 栄一さん
〔元鹿児島県公安委員会委員長〕
県公安委員会委員長として、県警の民主的な管理・運営などに尽力されるとともに、医師として教育研究に努められるなど、本県の安心安全な暮らしづくりの推進と地域医療の発展に貢献されました。

《産業経済部門》
中原 國男さん
〔現鹿児島県観光誘致促進協議会会長〕
県観光誘致促進協議会会長として、本県への観光客の誘致や受入体制の整備を図るなど、県観光の浮揚や活性化に尽力されるとともに、大河ドラマ誘致など、本県の観光振興に貢献されました。

《保健福祉部門》
瀬戸上 健二郎さん
〔元薩摩川内市下甕手打診療所所長〕
薩摩川内市下甕手打診療所所長として、38年以上の長きにわたり、離島・へき地医療に精励されるとともに、全国各地の医師などの人材育成に尽力されるなど、本県地域医療の発展に貢献されました。

《教育文化スポーツ部門》
前畑 省三さん
〔現鹿児島県独立美術協会代表〕
長年にわたり洋画家として研さんに努められ、多数の受賞歴を有し、美術文化の発展に寄与するとともに、鹿児島県独立美術協会代表を務めるなど、本県芸術文化と美術教育の発展に貢献されました。

10/30
[月]

かごしま遊楽館来館者1000万人達成記念セレモニー



東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」において、来館者1000万人達成を記念してセレモニーとフェアを実施しました。

セレモニーでは1000万人目の来館者となった東京都にお住まいの女性と三反園知事がくす玉を割って節目の達成を祝いました。

また、記念フェアでは、店内商品の割引や福袋、限定メニューの提供、特別企画展などを実施し、福袋は、連日完売となるなど人気を博しました。

今後、本県の首都圏における物産や観光の拠点として、さまざまなイベントを開催しますので、ぜひお越しください。



11/13
[月]

世界自然遺産奄美トレイル シンボルマーク・デザインコンテスト表彰式



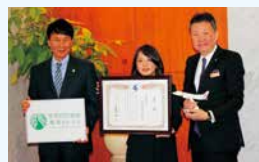
世界自然遺産
奄美トレイル
Amami World Heritage Trail

奄美の世界自然遺産登録に向けて選定を進めている「世界自然遺産奄美トレイル」のシンボルマークを決定しました。

マークは、全国から応募された273作品から選定。作成者の勝野佑香さんには、三反園知事から知事賞が授与されました。

このマークは奄美の森に生い茂る木々の幹を道に見立て、その周りにアマミノクロウサギなど希少な動植物を描いており、奄美トレイルの標識や奄美に運航している飛行機の機体などに表示される予定です。

今後、このマークが多くの方々に親しまれ、奄美群島全体をつなぐトレイルのシンボルとなるようPRしていきます。



11/16
[木]

京都賞受賞者鹿児島講演会



科学・文明の発展、人類の精神的深化・高揚に著しい貢献をした方々に贈られる国際賞「京都賞」を本年受賞した、三村高志博士、グレアム・フアーカー博士、リチャード・タラスキン博士を鹿児島に招き、宝山ホールで講演会を開催しました。

講演会には、(公財)稲盛財団の協力により招待した離島地域などの高校生約300名をはじめ、将来の鹿児島を担う高校生や大学生など約1500名の方々が参加。

”世界の知性“が直接語りかける講演の内容に、熱心に耳を傾けていました。

